

地域とともにある

勢いのある学校

No. 15 (R2. 8. 25発行) 文責 校長 福田雅也

高き志【こころざし】

豊かな実りのために

農作物作りの基本は「土作り」と言われます。

保護者の皆様方の中には、農業に携わっておられる方もいらっしゃると思いますので、農業のことをまったく知らない私わたしが、こんなことを書くことと笑われるかもしれません。しかし、「土作り」が大切であるということは、私わたしにもよくわかります。「豊かな実り」のために一番大切なことは、苗(種)を植える前に、手間ひまを惜しまずに「土作り」にしっかりと取り組むことだと理解しています。

私わたしは、小しょうがっこう学校時代というの、農のうぎよう業で言うとその「土作り」をしている期間だと考えています。わら、木この葉、鶏けいふん糞や牛ぎゆうふんとう糞等を、時間じかんをかけながら根こん気良きよく混まぜ合あわせ堆たいひ肥づくを作り、土つちと混まぜて良よい土つちを作つくっていかれるように、(詳くわしくないの、間ま違ちがっていたらすみません。)小しょうがっこう学校時代は、将しょうらい来こ、子こどもたちが、それぞれの人じんせい生なかなかで素す晴はらしく豊ゆたかな実みのりを実現じつげんさせるために、学がく習しゆうを重かさね、運うんどう動どうで体からだづくりをしながら、日ひ々び繰くり返かえされる様さま々ざまな経けい験げんとそれらを混まぜ合あわせ、人ひととしての土ど台だいを作つくっている時じ期きだと考えているのです。特とくに、経けい験げんという面めんでは、やっやつつてははいけけないことことをして失しつぱい敗ぱいしたり、友とも達だちとけんかなどのトラとらブルぶるがああつたりと、子こどもたちにとって、この時じ期きだからここそ経けい験げんとして許ゆるされることことがたたくくさんあると思おもいます。大おとな人ひとにななってややつつてしままったののでは、ままずいいよようななことことでも、この時じ期きは、そのででききごとをもとに学まなべべいいののです。(ももちろろん、度どを越こしたら困こまりますが…)その失しつぱい敗ぱい等とうを、成せい長ちようの糧かてとすることができできるののです。

大たい切せつななのは、私わたし達だち大おとな人ひとがそのよような視してん点てんで、子こどもたちを見み守まもることができできるかどうかだと思おもいます。子こどもたちに、失しつぱい敗ぱいやトラとらブルぶる等とうを起おこさせないことことに視してん点てんを置おくのではなく、子こどもたちが経けい験げんする日ひ々びの様さま々ざまな出で来き事ごとをししつかりと受うけ止とめ、そそこから何なにを身みに付つけさせることができできるのかを見極め、導みちびいてあげることことに視してん点てんを置おくことことが「土作り」につなつがると思おもうののです。自じ分ぶんの思おもいだけで子こどもたちを動うごかそうとせず、感かん情じよう的に怒おこったりせず、言ことばだけで正ただしいことことを押し付おけよう(ああしなさい・ここうしなさい、ああれはだめ・ここれはだめ)とせず、子こどもたちが、豊ゆたかな実みのりのもと自じ己じ実じつげん現げんし、社しゃ会かいのためために貢こうげん献けんしている姿すがたをししつかりとイメいジじしながら、共ともに歩あゆんでいけいたらと思おもいます。

小しょうがっこう学校時代は栄えい養ようたたっぷりの「土作り」、中ちゆうがっこう学校時代に苗なえ(種)を植うえ、根ねを張はり、高こう校こう以い上じようの学まなびで大おおきく大おおきく成せい長ちようし、ややがて、社しゃ会かい人じんとして素す晴はらしく豊ゆたかな実みのりを実現じつげんさせてくれたらと思おもっています。